

平成30年度鳥取大学修学支援事業基金 学生の感謝のことば

本年度の事業により支援を受けた学生から、ご寄付を頂いた方々に対する感謝のことばが届いています。その一部をご紹介します。

(注) 学生の学年は奨学金給付時(平成30年11月)のもの

地域学部1年 Aさん

この度は、修学支援事業基金から奨学金を給付していただき、誠にありがとうございます。いただいた奨学金は、今後の研究や公務員を目指すにあたり、必要となる多くの教科書や問題集の購入費用に充てさせていただきます。

私は、地域学部において、地域政策・まちづくり政策について学んでおり、ここでの経験を将来は公務員となることで地域の皆様に還元したいと考えております。私の家は母子家庭で、母に女手一つで私と弟の学生生活を支えてもらっています。家計も厳しく、今回のように皆様から支援をいただけることは誠にありがたいことと存じます。

修学支援事業基金に寄附して下さった学内外の皆様にご感謝するとともに、残りの大学生活で様々な経験を積むことで、今回の御支援を無駄にしないよう尽力します。この度は本当にありがとうございました。

医学部6年 Bさん

この度は、修学支援事業基金から奨学金を給付していただき、ありがとうございます。医師国家試験勉強の傍ら、毎週末のアルバイトで生活費の足しにと頑張ってはおりますが、受験料や講座の受講料など多くの費用がかさみ、とても楽とは言えませんでした。今回、いただいた奨学金を活かして、国家試験合格に向けて今後も更に精進していきたいと思っております。

私と同様に家計が苦しく、学費や生活費に困っている学生は沢山いると思っております。私達の存在に目を向け、温かいご支援を下さる学内外の皆様にご心からの感謝を申し上げますとともに、残り少ない学生生活を有意義なものとしていきたいと思っております。この度は、本当にありがとうございました。

工学部1年 Cさん

この度は、修学支援事業基金から奨学金を給付していただき、ありがとうございます。

私は建築士という職に就きたく、この学科を志望しました。2年次は土木のプログラムに進もうと考えています。将来は建築士として人の役に立つ建物を設計することで、社会の役に立ちたいと考えています。

我が家は母子家庭で、生活も余裕があるわけではないため、仕送りはありません。ですから、最低限の教科書しか買うことができません。そのため、皆様から支援いただいた奨学金は、将来の目的実現のため、教材の費用に充てさせていただきます。最後に、修学支援事業基金に寄附して下さった学内外の皆様にご感謝するとともに、大学生活を有意義なものにしていきたいと思っております。この度は、本当にありがとうございました。

農学部1年 Dさん

この度は、修学支援事業基金から奨学金を給付していただき、ありがとうございます。

私は農学部生命環境農学科に所属しており、将来は世界に出て農業技術を広めていこうと考えていました。そんな矢先、奨学金を給付していただけることになり、海外留学や海外ボランティアの夢が現実味を帯びてきました。夢をかなえるためには英語の勉強に励み、さらに農学の専門分野の学習も欠かせません。今回の奨学金は夢の準備、特に教科書の購入などのために使わせたいと思います。

修学支援事業基金に寄附してくださった皆様に感謝するとともに、今後の学生生活をより有意義なものにしていきたいと思います。この度は、本当にありがとうございました。

持続性社会創生科学研究科2年 Eさん

この度は、修学支援事業基金から奨学金を給付していただき、ありがとうございます。いただいた奨学金は、学会費や教科書代などの学費に充てさせていただきます。

現代社会においては、情報通信 技術の目覚ましい発展により、今後の10年、20年で社会はさらに変化していくと考えられます。そのような社会の変化に流されるのではなく、携わる側でありたい、そう思って私は、コンピュータシステムの品質・信頼性評価に関する研究を行っています。卒業後は、研究で得た知識や技術を活かし、システムエンジニアとして、品質及び信頼性の高いシステムを開発して、社会に貢献していきたいと考えております。

修学支援事業基金に寄付してくださった学内外の皆様に感謝するとともに、残り僅かな学生生活をより有意義にしていきたいと思います。この度は、誠にありがとうございました。